

日	順番	質問予定者氏名	ページ番号
3月17日（月）	1	櫻庭節子	2 ページ
	2	こんどう彰治	3 ページ
	3	滝澤陽一	4 ページ
	4	橋本洋一	5 ページ
	5	草間和幸	6 ページ
	6	関川信之	7 ページ
	7	平原留美	8 ページ
3月18日（火）	8	高橋浩輔	9 ページ
	9	宮崎朋子	10 ページ
	10	小林和孝	11 ページ
	11	山田忠晴	12 ページ
	12	江口修一	13 ページ
	13	上野公悦	14 ページ
	14	熊倉隆将	15 ページ
3月19日（水）	15	山本佳洋	16 ページ
	16	ストラットン恵美子	17 ページ
	17	伊崎博幸	18 ページ
	18	牧井邦生	19 ページ
3月21日（金）	19	丸山章	20 ページ
	20	高山ゆう子	22 ページ
	21	安田佳世	23 ページ
	22	平良木哲也	24 ページ
	23	橋爪法一	26 ページ
	24	宮越馨	27 ページ
3月24日（月）	休 会		

※各日の質問予定者は、変更になる場合があります。

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月18日

次のとおり通告します。

議 員 櫻 庭 節 子

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 義務教育で求められる学習の内容や方法について (1) 新聞やテレビ局の報道は世論に影響を与えるが、情報リテラシーとディベートに重きを置いていないと見受けられる日本の義務教育や学習指導要領に問題はないか。また、当市における情報リテラシーなどの学校教育の現状はどうか。 (2) 政治と経済は密接に関係し、個人の生活の幸福にとって大切なものだが、義務教育で重要視されていない。政治や経済に対する正しい知識と関心を高める必要があると考えるが、当市の現状と評価を聞きたい。 (3) 教師や教育委員会が、国の学習指導要領に意見や提案を出すことはあるか。また、当市独自の判断で教育内容を改善したい場合、教育委員会や学校長にその権限はあるのか。				教育長
2 物価高騰と地方への支援について (1) 異常な物価高騰と、所得が上がらない状況に全国民が苦勞しており、事業者も厳しい現状である。例えば、地方都市はガソリンや灯油の値上げに大きな影響を受けやすいが、地方の声をどのように国に届けているか。				市 長
3 農業政策について (1) 当市の重要な産業である農業について、収入が不安定であることや、国の農業に対する希望的な長期ビジョンが見えないことで、後継者不足に拍車がかかっている。農業県の代表として、国に「食料安全保障に対する取組の強化」を強く訴えるべきではないか。また、若手農業者の声を聴くために、意見交換などは行っているか。				市 長
4 災害救助法の適用について (1) この度の大雪は、各地域で積雪量に大きな差があった。現行の災害救助法の適用は旧市町村単位となっているが、更に区域を細分化して、積雪量の多い地域に対し、早期に災害救助法が適用できるよう県に要望すべきではないか。				市 長
5 高齢者のための入居施設の設置について (1) 牧区の高齢者福祉センターは、冬期間の高齢者の住居として活用されており、ニーズが高まっている。国や県等の事業を活用し、廃止した公共施設を高齢者のための入居施設として利用できないか。				市 長
6 道路補修について (1) 道路舗装の破損が多く、補修に取り掛かるまで時間がかかり危険な場合がある。また、白線も消えている箇所があるが、市の対応方針を聞きたい。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月18日

次のとおり通告します。

議 員 **こんどう 彰治**

発 言 の 種 別	質疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 今冬の大雪被害等について (1) 今冬の大雪では、2月6日に災害警戒本部を設置した。また、2月10日に災害対策本部へ移行し、同日には災害救助法が適用されたが、大雪による被害状況について聞きたい。また、過去3か年度と比較してどうか。 (2) 当市における今冬の災害救助法適用の対象地域は6区であったが、対象地域以外でも住家が倒壊するおそれがあったことから、県に対して適用基準の見直しを要望すべきと考えるが、市の見解はどうか。 (3) 今冬の市道除雪に関して、どのような苦情があったか。 (4) 今冬は、道路舗装の損傷している箇所が例年以上に多く見受けられる。交通事故の原因となり得ることから、早急に復旧を行う必要があると思うが、パトロールや修繕方法について聞きたい。 (5) 上越妙高駅の市営駐車場は、今冬の大雪で満車状態が続き、短時間用駐車場の利用も多く見受けられた。大雪時は駐車場内の排雪作業を行い、駐車スペースを確保するなど、改善の余地もあると考えるがどうか。 (6) 2月6日には地盤沈下注意報が警報に切り替えられたが、消雪用井戸の設置者には節水対策を含めて、どのように周知を行っているか。				市 長
2 埼玉県八潮市の道路陥没を受けた当市の対応等について (1) 下水道管（污水）における口径1,000mm以上の管の延長及び経過年数はどれくらいか。 (2) 国からの口径2,000mm以上の下水道管路に対する緊急点検要請について、当市では該当する施設がなく、また、口径1,500mm以上の下水道管は能登半島地震後に異常がないことを確認しているため、緊急点検を実施しないと聞いているが、令和7年度に実施するとしている5年毎の管路点検を早急に実施できないか。 (3) スtockマネジメント計画は、長期的な視点で老朽化の進行状況を考慮し、施設の点検・調査、修繕・改築を行うものであり、本計画に基づく点検では、直ちに修繕を必要とする箇所はないとしているが、点検結果について具体的に聞きたい。				市 長
3 金谷山公園で行われるイベント等での対応について (1) レルヒ祭を盛り上げるため、レルヒ像のライトアップを望む声が多数あるが、ライトアップの検討を行う考えはあるか。 (2) 新金谷地区公民館の建設地は、BMXの大会開催時に、駐車場として利用したことがあったため、今後駐車スペースが減少するが、代替の駐車場について検討する考えはないか。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月18日

次のとおり通告します。

議 員 滝 澤 陽 一

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 イノシシ対策について (1) イノシシの住宅地への出没による人身被害が相次いで起きている。また、農業者から農作物被害を多く聞いている。これまでの市の対策について聞きたい。 (2) 市民及び農作物をイノシシから守るためには、猟友会による捕獲も重要と考えるが、捕獲状況と捕獲活動に対する支援の内容を聞きたい。				市 長
2 ふるさと上越応援寄附金の活用について (1) 第 100 回を迎える高田城址公園観桜会において、クラウドファンディングを活用し寄附金を募っているが、令和 7 年度はアニバーサリーイヤーと称し、ほかにも様々な周年事業が目白押しである。今後、他の事業においてもクラウドファンディングを活用していく考えはあるか。 (2) 寄附者が、14 項目から寄附金の使途を選ぶことができるが、地域自治区ごとの活性化などの項目を増やすことにより、寄附の拡大に加え、地域の活性化に向けた財源の確保が期待できると考えるがどうか。				市 長
3 住民組織の存続に向けた市の関わりについて (1) 地域自治区単位で組織されている、いわゆる住民組織では、合併前の各町村が行っていた事業や地域支え合い事業などの大切な事業を担っているが、財源や担い手不足等により、今後の組織の運営が厳しいとの声もある。これら組織に対する支援や対策が必要と考えるがどうか。 (2) 地域の活力向上に取り組むための基盤整備を行う住民組織等を対象に、車両等の備品の購入に対する補助制度を平成 27 年度に創設したが、それから 10 年が経過した。今後、車両等の買い替えが必要となってくるが、それらを更新するための経費を補助する考えはないか。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月18日

次のとおり通告します。

議 員 橋 本 洋 一

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 財政調整基金の推移と市財政の将来予測について (1) 直近 5 年間の財政調整基金残高と積み立ての状況、取り崩しの内容について聞きたい。また、財政の将来予測はどうか。				市 長
2 道路及び下水道管路の保守管理について (1) 埼玉県八潮市で道路陥没が発生したが、当市の道路及び下水道管路の保守管理状況等について以下の点を聞きたい。 ア 路面下空洞調査の現状と課題、今後のスケジュール イ 管路調査の現状と課題、今後のスケジュール ウ 道路及び管路管理者との連携 エ 市民への広報				市 長
3 災害救助法適用の緊急要請等について (1) 今冬の大雪災害に関し、議会から市長に対して、災害救助法の早期適用と適用基準の柔軟な運用を県に緊急要請するよう申し入れが行われたが、市はどのように対応したのか。 (2) 災害救助法適用の目安となる地区別平均積雪深の観測点が、平野部と山間部が混在して設定されているが、対象地区の実情に応じた観測点とするよう県に要望すべきではないか。				市 長
4 公共施設の L E D 化について (1) 学校、集会・研修施設、文化・スポーツ施設など市が管理する公共施設の照明について、L E D 化の現状はどうか。また、今後の整備に関し、財政的な課題はないのか。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月18日

次のとおり通告します。

議 員 草 間 和 幸

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）	
項 目 ・ 要 旨					答 弁 者
1 スマート農業について					市 長
(1) 当市ではスマート農業相談窓口を開設しているが、これまでの相談件数について聞きたい。また、どのような相談内容が多いのか。					
(2) スマート農業の普及に向けた取組と、その成果について聞きたい。					
(3) スマート農業機械のより一層の導入促進を図るため、市として助成や支援を拡充する考えはないか。					
(4) スマート農業を最大限いかすためには、大区画ほ場整備が必須と考えるが、当市のほ場整備の状況と、今後の見通しについて聞きたい。					
2 ふるさと納税について					市 長
(1) 令和6年度のふるさと納税寄附金額は、目標金額である5億円を突破し、前年度から大幅に増加しているが、その理由をどのように分析しているか。					
(2) 令和7年度の目標額10億円に向けて、どのように取り組んでいくか。					
(3) 寄附金の使い道として14項目を設定しているが、項目の見直しについて聞きたい。					
3 外国人市民への当市の対応について					
(1) 企業誘致を進めている中で、当市の外国人労働者及び外国人技能実習生の就労実態について聞きたい。					市 長
(2) 総合事務所や健康福祉部、こども・子育て部、教育委員会、防災危機管理部などの外国人市民の生活に関わる部署において、情報や課題などを共有できているか。また、今後増加が見込まれる外国人市民を関係する部署が連携して支援していくために、多文化共生課の機能強化を図るべきではないか。					市 長
(3) 外国人市民の子どもたちに対する学校教育の取組について聞きたい。また、子どもの教育に関する保護者への情報共有はどのようにしているか。					教育長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月21日

次のとおり通告します。

議 員 関 川 信 之

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 前島密翁生誕 190 年事業について (1) 記念事業の内容と、市内外への魅力発信及び地域の発展につなげる具体的な取組について聞きたい。また、前島密の偉業を広めるため、大河ドラマへの採用に向けたキャンペーン等を実施する考えはないか。 2 日本海上越沖の表層型メタンハイドレートについて (1) 市民の関心を高めるための広報・啓発活動の具体的な効果と、今後の取組について聞きたい。 (2) 将来的な商業化を見据える中で、市はどのように取り組んできたのか。また、今後の取組について聞きたい。				市 長 市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月21日

次のとおり通告します。

議 員 平 原 留 美

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 上越妙高駅周辺地区商業地域の整備について (1) 上越妙高駅が開業し10周年を迎える。この間、市では、上越市新幹線駅周辺地区まちなみ形成構想や新幹線新駅周辺地区の土地利用方針に基づき、上越妙高駅周辺地区商業地域の整備に取り組んできたと承知しているが、計画どおり進んでいるか聞きたい。 (2) 上越妙高駅周辺の企業誘致について、これまでの進捗状況や成果、課題を踏まえた令和7年度の方針を聞きたい。また、市長の公約には、高齢者支援として健康で長生きできる予防医療・予防介護の先進企業（ベンチャー）を上越妙高駅周辺に誘致するとあったが、その進捗状況を聞きたい。				市 長
2 人口減少・少子高齢化対策及び移住・定住促進の取組について (1) 短期的な人口減少対策には、移住の促進が必要であると考え、市外に対する発信だけでなく、市民と一緒に移住促進の機運を盛り上げていくべきだと思うがどうか。 (2) 地域おこし協力隊について、これまでの定住・定着の状況はどうか。また、その成果をどのように評価しているのか。 (3) 当市での結婚支援策の現状と今後について聞きたい。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月21日

次のとおり通告します。

議 員 高 橋 浩 輔

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 脱炭素社会プロジェクトにおける再生可能エネルギーについて (1) 脱炭素社会プロジェクトでは、「再生可能エネルギー導入の積極的検討・推進」を掲げているが、以下の点を聞きたい。 ア 地域資源を活用した再生可能エネルギー導入の意義を、どう捉えているか。 イ 名立区における地域主導による小水力発電の導入可能性調査が実施されたが、調査結果と評価を聞きたい。 ウ 地域主導の小水力発電の導入を進めるに当たり、解決しなければならない課題や整えなければならない条件があると思われるが、市として実現に向けてどのような支援を考えているか。 エ 今後、他地域から再生可能エネルギーの導入の声があった場合、同様に支援していく考えはあるか。 2 子どもの貧困対策について (1) 令和6年度から新たに開始した「子どもの学習・生活支援事業」について、初年度の取組の成果を聞きたい。 (2) さらに充実させ効果を上げていくために、今後どのように取り組むか。 (3) 子どもの貧困対策について、今後、市としてどのように取り組んでいくのか考えを聞きたい。				市 長 市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月25日

次のとおり通告します。

議 員 宮 崎 朋 子

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 たくましく生き抜く子どもの育成について (1) 当市の教育予算は、歳出全体の 9%で毎年ほぼ変わっていないが、当市の予算における教育予算の位置付けをどう考えているか。 (2) 学力向上は当市の長年の課題であり、より一層の創意工夫と積極的な取組が必要と考えるが、小学校学力向上対策事業の課題に変化はあるのか。また、小学校の標準学力検査（NRT）の直近の結果と分析、課題を聞きたい。 (3) GIGAスクール構想によって、小中学生の学びに、どのような変化があったか。また、令和7年度に市が予定するプログラミング学習教材の活用により、期待する効果は何か。 (4) 自ら気付き、考え、想像力を働かせ、道を切り開くことができる、たくましく生き抜く子どもが増えることは、地域や社会を牽引する人材の育成や、まちの活性化の原動力にも大きく繋がると考えるが、そうした子どもを育成していくために、学校ではどのように取り組んでいるのか。また、教育委員会として、今後どのように進めていこうと考えているのか。				市 長 教育長 教育長 教育長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月25日

次のとおり通告します。

議 員 小 林 和 孝

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 通年観光計画における春日山地域の取組について (1) 観光拠点施設の候補地として4か所が挙げられているが、この4か所を選定した理由を改めて聞きたい。 (2) 観光拠点施設の建設地決定までの検討事項と、スケジュールを聞きたい。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月25日

次のとおり通告します。

議 員 山 田 忠 晴

発 言 の 種 別	質疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 带状疱疹ワクチンの接種拡大について (1) 带状疱疹ワクチンの定期接種化による、令和7年度の接種率をどの程度と想定しているのか。また、接種率向上のため、带状疱疹に関する情報発信や疾患啓発、ワクチン接種推奨に向けた取組を予定しているのか。 (2) 带状疱疹ワクチンの定期接種化に合わせ、50歳以上の対象者とならない方の接種費用も市独自で助成し、接種者の拡大を図る考えはないか。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月25日

次のとおり通告します。

議 員 江 口 修 一

発言の種別	質疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）	
項 目 ・ 要 旨					答 弁 者
1 上越地域医療センター病院の改築について					市 長
(1) 令和6年12月定例会では、病院改築後の収支見通しや地域医療構想の議論、経営環境の変化などを理由に、「センター病院の改築に着手しないと判断した」と報告があった。その後の報道によると、市長は「財政計画を見直してでも、令和8年度には改築に着手する」としているが、発言の根拠を聞きたい。					
(2) 令和8年度の改築費は、どれくらいを想定しているのか。					
(3) 病院及び市の財政状況を踏まえ、無理のない範囲での施設整備や運営体制の見直しが必要であり、経営改善策を講じつつ、質の高い医療サービスを提供するための効率的な運営が求められると思うが、どのように取り組むか。					
(4) 厚生常任委員会として現地を視察したが、これまで修繕等を行ってきたのか。					
2 財政計画について					市 長
(1) 令和7年度における財政調整基金の残高を、約28億円と見込んでいる。非常に厳しい財政状況だと思うが、市政運営に問題はないのか。					
(2) 令和7年度予算では、上越地域医療センター病院や上越総合病院への財政支援など、継続した支援を求められるものが予算計上されている。また、えちごトキめき鉄道などへの支援による更なる歳出の増加や、多くの歳入が見込めない中で、どのようにやり繰りしていくのか。					
3 行政改革について					市 長
(1) 財政調整基金が28億円にまで減少し更なる行政改革が不可欠であり、積極的な歳出削減に踏み込むべき時期に来ている。「セルフチェック」による見直しや改善に取り組むだけでなく、外部の専門家を交えて客観的に行政コストを見直すなど、更なる歳出削減を図る考えはないか。					
(2) 職員数の更なる適正化や給与体系の見直しを行わなくてよいように、事業の統廃合や業務のアウトソーシングを拡大するべきと考えるがどうか。					
(3) 公共施設の削減は進んでいるのか。623施設も維持する財政的な余裕があるのか。維持管理コストの削減はどの程度なのか具体的に示すべきでないか。					
(4) 第三セクターの整理は進んでいるが、まだ完全には終わっていない。赤字の第三セクターの状況と、市の負担額の推移を示し、更なる統廃合・民営化を推進するべきでないか。					
(5) 未利用の市有地や公共施設の売却・遊休資産の民間活用を積極的に進められないか。					
(6) 令和5年6月定例会で示した歳入不足に対する対策で、ふるさと納税増額、民間活用維持管理手法（ネーミングライツ）、法定外税（遊漁税・ペット税）を検討できないか。					

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月26日

次のとおり通告します。

議 員 上 野 公 悦

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 東京電力柏崎刈羽原子力発電所の再稼働の是非を問う新潟県民投票条例の制定を求める新潟県条例制定請求について (1) 直接請求制度と住民投票の意義について、市長はどのように考えているか。 (2) 2 か月間という短期間で、上越市では1 万 4,700 筆以上、新潟県全体では15 万筆以上の署名が集まった。子どもの未来や安心安全を考え、原発再稼働の是非は自らの大事な問題として選択に関わるべきだとの思いから署名が行われたが、この市民、県民の思いをどう受け止めているか。 (3) 原発再稼働について、市民の安心安全の観点から、どのような思いを持っているのか。その思いを、市民に何らかの形で発信することは考えられないか。				市 長
2 教員不足の解消について (1) 当市において、教員不足や未配置は今のところないとのことだが、全県的な教員不足や未配置、多忙化の状況をどう認識しているのか。また、教育現場は限界を超えている、という認識はないか。 (2) 当市の教員の休職の状況はどうか。また、精神疾患や健康を害する状況にないか聞きたい。あわせて、そうならないメンタルヘルスケアをどのように行っているのか。 (3) 教員という職業の魅力発信や、余裕を持って子供たちと寄り添える現場づくりが必要と考えるがどうか。また、教員定数増などによる長時間労働の根本的改革、業務量改善、多様な人材活用、少人数学級の実現などの働き方について、これまで市ができるところは努力してきたと評価しているが、今後、国や県へ更に声を上げていくことが大事だと思うがどうか。				教育長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月28日

次のとおり通告します。

議 員 熊 倉 隆 将

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 創業支援・中小企業支援について (1) 令和7年度当初予算案では、前年度よりも創業者の目標を増やしているにもかかわらず、創業スタートアップ支援補助金の予算が減額されている。その理由を聞きたい。 (2) 令和6年度の現時点における創業スタートアップ支援補助金の状況について、通常枠・U I J ターン女性活躍推進枠それぞれの支援件数及び支援額の評価を聞きたい。 (3) U I J ターン女性活躍推進枠を女性に限定している意図は何か。 (4) 令和7年度当初予算案において、中小企業者等イノベーション促進事業が約4,400万円減額され、500万円となっている。収益力向上・賃上げ環境整備補助金で1,500万円の予算を計上して補助実績を補うとしているが、差し引きで2,900万円の減額である。減額の理由を聞きたい。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月28日

次のとおり通告します。

議 員 山 本 佳 洋

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 東京電力柏崎刈羽原子力発電所の再稼働の是非を問う新潟県民投票条例の制定を求める直接請求署名等について (1) 今回、署名活動の結果、上越市では前回よりも大幅に署名数が伸びたが、市長はどう捉えているか。また、県民投票の実施は、原発再稼働に関し、県民の信を問う有効な選択肢であるが、市長の考えはどうか。				市 長
2 閉校した学校体育施設の活用について (1) 令和8年4月に三郷小学校が南本町小学校へ統合される方針だが、現在、三郷小学校の体育館を利用している団体への対応をどのように考えているのか。また、体育施設として維持するべきだと考えるがどうか。 (2) すでに統廃合された学校について、利活用している旧宮嶋小学校とそうでない旧古城小学校などがあるが、その判断基準を聞きたい。				教育長
3 職員の引越し時期の分散等について (1) 国土交通省は、引越しシーズンにおける混雑緩和とトラックドライバーの負担軽減のため、時期の分散を呼びかけている。東京に異動となる職員に対して、平日に引越しができるように休暇取得を促すなどの検討は行ったのか。また、その職員に対して支給される赴任旅費は、引越し費用に見合った額となっているかを聞きたい。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年2月28日

次のとおり通告します。

議 員 ストラットン恵美子

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 環境に配慮した制服等リユース事業について (1) 令和7年度予算に高校の制服等リユース事業の試行が提案されているが、市内小中学校における制服リユースの取組状況はどうか。 (2) 上越市一般廃棄物処理基本計画の基本理念である「3Rの実践によるごみ発生量の削減と資源化の促進による持続可能な循環型社会の構築」に沿った事業として、制服やランドセルなどのリユースを推進すべきと考えるがどうか。 (3) 市内の制服リユースを検討する保護者会や団体、企業等に対して、積極的に支援すべきと考えるがどうか。				教育長 市 長 市 長
2 幼児期からの子どもの育ちや学びについて (1) 幼児期に五感を使った体験や「遊び」を通じて総合的に学ぶことによって、目に見える力・数値化できる力である認知能力より、自己管理能力や共感力、コミュニケーション能力を育む非認知能力を伸ばすことが重要と指摘されている。当市における幼児教育の考え方を聞きたい。 (2) 小1プロブレム等の課題を解決するため、幼保小との連携など、子どもの学びの連続性をどのように確保しているのか。また、それらについて市が方針を掲げ、行うべきと考えるがどうか。 (3) 文部科学省が令和4年度から始めた幼保小の架け橋プログラムは、19の自治体がモデルとなり取組が進められてきたが、当市も取り入れる考えはないか。				教育長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年3月3日

次のとおり通告します。

議 員 伊 崎 博 幸

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 生活習慣病予防対策の強化と地域にわたった健康づくり活動の推進について (1) 当市の生活習慣病の現状と目標について、以下の点を聞きたい。 ア 国と比較した当市の死亡率の現状 イ 当市の健康寿命の現状と目標値 ウ 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）に、アウトカム（結果）を重視した内容とするところがあるが、生活習慣病、特に癌や脳血管疾患、心疾患、アレルギー疾患についての目標数値はあるか。 (2) 市民に対する予防啓発活動について、以下の点を聞きたい。 ア 若い世代への取組の現状 イ 食生活に関する取組の現状と課題 ウ 調理方法による栄養価の損失などの指導の現状 エ 添加物に対しての指導の現状 (3) 上越市第2次健康増進計画における、民間団体との取組の状況を聞きたい。				市 長
2 HPVワクチン接種に関する慎重な対応と市民の健康被害防止について (1) 当市におけるHPVワクチン接種について、平成25年に積極的な勧奨が一時中止され、令和4年から接種が再開されたが、定期接種対象者及びキャッチアップ接種対象者の接種率を聞きたい。 (2) 対象年齢の市民やその保護者に対して、どのような内容・方法で情報提供しているのか。 (3) 健康被害への対応体制について、以下の点を聞きたい。 ア 接種後の健康観察をどのように行っているか。 イ 健康被害が発生した場合の相談窓口と対応の流れ ウ 市民が健康被害と思われる症状に気付いた場合、どこに相談し、どのような支援を受けることができるのか。 エ 接種後の長引く不調などで悩まれている方に寄り添う対応について、どのように考えているのか。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年3月4日

次のとおり通告します。

議 員 牧 井 邦 生

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 上越市第2次地球温暖化対策実行計画について (1) 2030年度に温室効果ガス排出量を2013年度比で50%削減すると目標を掲げており、目標達成に向けて、産業部門、民生業務部門、民生家庭部門それぞれで、相当野心的な対策による削減が必要と考えるが、温室効果ガスを大幅に削減するための取組を部門ごとに具体的に聞きたい。 (2) 2030年、2050年の目標に向け、環境部だけでなく、複数の部署を巻き込んだ組織的な取組が必要と考えるが、どのように捉えているのか。 (3) 秋田市沖では、2022年12月から洋上風力発電が稼働しており、秋田市民30万人の家庭の電力全てと市役所の電力3～4割を風力発電で賄っているが、洋上風力発電を進める考えはないか。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年3月6日

次のとおり通告します。

議 員 丸 山 章

発 言 の 種 別	質疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 「ママ・パパ子育て応援ハウス」設立について (1) 共働き夫婦の増加に伴い、父親の育児参加も増えているものの、家事や育児等における母親にのしかかる負担はまだまだ大きい上、ひとり親家庭の親の負担は更に大きいと言える。子どもの病気対応等における仕事の調整や睡眠不足など、親の心身の疲労の蓄積は様々な病気のリスクを高めるほか、夫婦間の亀裂の一因にもなりかねないことから、こうした状況を改善させる手厚い支援が必要である。子育て支援の内容を充実させることにより、共働き夫婦、ひとり親世帯の利便性を向上させるとともに、安心安全に子育てできる環境を整えることは欠かせない。「若年層の定住・回帰なくして当市の発展なし」であるが故に「ママ・パパ子育て応援ハウス」を設立すべきと考えるがどうか。 ア 成功へ導く具体策 (ア) 当市は広大な面積を有することから、藤巻を境に以北・以南それぞれに1か所ずつ設置する。 (イ) 既存のファミリーサポートセンター、ファミリーヘルプ保育園、こどもセンターを一体にして、これらの施設等で対応できなかった支援にも対応できるようにする。 (ウ) 保護者の諸事情により、通勤時等に就学前までの乳幼児を「応援ハウス」に預けた際は、以後の保育や各保育園への送迎は全て「応援ハウス」で対応する。 (エ) 子育て世代からの子ども預かりに対する要望・希望を叶えるため、施設の開設時間に融通性を持たせることにより、共働き世帯・ひとり親世帯の負担軽減を図る。 (オ) ワンストップで妊娠から子育てに関する事案に対応できる相談窓口を併設する。 (カ) 空き町家等を活用することにより、施設利用者が町家の雰囲気を感じることができ、こどもの情操教育やまちづくりへの貢献へ繋げる。 (キ) 国又は県の予算を活用するため、モデル地区指定を目指す。				市 長
2 上越地域医療センター病院の改築について (1) 病院改築の延期については、病院の収支状況が長期間大幅な赤字傾向であること、令和6年6月の国の診療報酬改定が全国的な病院の経営悪化の要因となっていること、上越地域の医療構想の議論の動向を見定める必要があることがその理由とのことである。そこで、以下の点について聞きたい。 ア センター病院改築後の安定経営の見通しを立てるための最優先の課題は経営改善であることから、専門家の助言・指導を得て改築の判断の1つにしたいという考えだと受け止めているが、専門家の助言等によっては再延期もあり得るのか。 イ 市長は、令和6年12月23日の記者会見で、財政状況は厳しいが、仮に病院の収支が改善しなかったとしても、財政計画を見直ししてでも、改築に着手しなければならないと述べ、令和8年度の着手を明言した。にもかかわら				市 長

ず、1,036万円の予算を投じて専門家の助言・指導を得てから改築の判断の1つにしたいという考えだと受け止めているが、今更何を言うかである。センター病院は老朽化が著しく、改築が遅ればそれだけ修繕費は嵩んでいくことになる上、一刻も早く劣悪な環境を改善することが重要であることから、まずは基本設計に着手すべく、令和7年6月定例会、9月定例会もしくは臨時会に補正予算案を提出し、合併特例債の期限である令和11年度末の完成を目指すべきでないのか。 ウ 国は、令和7年度地方財政対策（公立病院関連）で、資材価格等の高騰による建設事業費の上昇を踏まえ、病院事業債の公立病院の新設・建替等事業における1㎡当たりの建築単価の上限を52万円から59万円（13.5%増）に引き上げた。病院改築の障壁であった物価高に対応する国の支援策が示されたことから、すぐに改築に着手するべきでないか。また、できないのであれば、その理由は何か。 エ 令和7年度中に病床数における病院間の調整を済ませたい意向とのことであるが、新潟労災病院の閉院等に伴う調整においても、将来の人口減少を想定すれば、現状の197床を基準に199床を超えない病床数にすることが経営的にも現実的である。市としての病床数は197床とする、これまでの市の考え方に変わりはないか。	
--	--

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年3月7日

次のとおり通告します。

議 員 高山 ゆう子

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討 論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 うみてらす名立の改修計画について				市 長
(1) 当市の西の玄関口として名立区に「道の駅うみてらす名立」ができて 24 年が経過する。経年による老朽化があちこちに目立ちはじめ、2 年前から大規模改修を要望する声が上がっていたが、大規模改修に向けた考えと、現在の進捗状況を聞きたい。また、この 2 年間、指定管理者と改修計画に向けた相談は行ってきたのか。内鍵やスペアキー、照明などの構造体以外の改修は行われたのかどうかについても聞きたい。				
2 女性視点で考える防災・危機管理について				市 長
(1) トイレトレーラーやトイレトラックではなく、スペースが狭い小型トイレカーを導入することや、設置が容易な防災テントを配備しない点は、女性の視点が十分にいかされていないと考える。有事の際、市民が使う大切な備品であることや、防災ネットワークへの加入という観点からも、トイレトレーラー等や、プライバシーがより確保できる防災テントの導入について、再検討するべきでないか。				
(2) 内閣府は令和 2 年に防災・復興ガイドラインを取りまとめ、災害対応力を強化するのは女性の視点だとした。その中には、地方公共団体における防災・危機管理担当部局の女性職員や女性管理職の配置比率を示し、その低さと配属に男性が優先されている実態を問題視している。防災・危機管理担当部局における、管理職を含む女性の正規職員を積極的に配置・育成し、女性の視点で災害対応全般について意見を言えるような環境をつくっていくべきと考えるがどうか。				
3 食料供給困難事態対策法について				市 長
(1) 食料・農業・農村基本法の改正により、食料供給確保のための新たな法制度として「食料供給困難事態対策法」が令和 6 年 6 月に成立し、令和 7 年 4 月から施行される。この法律は、食料供給に困難な兆候が見えた際には、政府が農家等に対して特定の食料（米穀、小麦、大豆等）の生産促進等を要請し、更に深刻な食料供給困難事態になった際は、食料の生産計画を作成して届出を指示するものである。届出しない場合は、20 万円以下の罰金を科せられるため、一部の農家から不安の声がある。この法律に対する当市の見解を聞きたい。				

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年3月7日

次のとおり通告します。

議 員 安 田 佳 世

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 地域独自の予算事業に関する取組について (1) 当初、地域独自の予算事業として提案があり、その後、市が実施主体となるものや市の事業として取り組むことになるものは、どのような検討経過を経て決定されているか。 (2) 市の主要施策に沿った提案については、市が積極的に実施主体となり直営、または、業務委託等や全額補助を行う考えはないか。 (3) 地域独自の予算事業への新規提案に対する補助率上限 10 分の 7 は、直ちに見直すべきと考えるがどうか。また、事業の内容や自主財源の確保状況に応じて補助率を判断する見直しを行う考えはないか。 (4) 地域独自の予算事業について、実施主体の決め方や補助率の決め方等を定め、市民に周知すべきと考えるがどうか。 (5) 市の既存事業と関連する地域独自の予算事業がある場合、双方の実施内容の効率化や相乗効果の発揮に向けた総合的な観点からの検討や見直しを行う考えはないか。				市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年3月7日

次のとおり通告します。

議 員 平良木 哲也

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）	
項 目 ・ 要 旨					答 弁 者
1 地域医療について					市 長
(1) 地域医療への市民の願いは、「無理なく通えるところ、十分に命が助かるような救急搬送ができるところに、救急医療や手術、先進医療のできる病院を残してほしい。歩いて行ける範囲に診療所がほしい。」というものであり、市としてもその願いに応えられることを目指して様々な取組をしてきたと考えるが、このことについて市の見解を聞きたい。					
(2) 県主導の地域医療構想では、地域の病院の再編・統合を進めるとしており、市民が身近にかかれる病院が地域からなくなってしまうことになりかねない。これでは、地域医療への市民の願いを実現することはできない。市長は「地域の医療機能を維持するためには、医療再編に係る議論が避けられないという認識は一定程度共有されつつある。」と述べているが、地域医療構想では、なぜ医師・看護師の確保ではなく医療再編を選択していると考えているのか。国の医療費削減政策が根本の要因ではないか。だとすると、わが国の医療費の水準や全国の医師数は、抑制すべき水準であると考えているのか。また、他の先進諸国に比べ、これらの水準は国民負担の割合も含めて、どのような位置にあると考えているのか。					
(3) 本市としては、地域医療への市民の願い実現のために、国の方針の言いなりではなく、まさに自治体として市民の側に立った取組をしていると考えるが、具体的な取組内容を聞きたい。また、今後、市民の願い実現のためにやろうとしていることは何か。市内や地域医療圏内の病院、公立診療所のあり方、市としての県や国への対峙の姿勢について、具体的に聞きたい。					
(4) 地域医療センター病院に関しては、万全な医療活動ができる条件を整備することが市の責務であると考えている。したがって、老朽化が激しく今すぐに建て替えることが必要な建物については、市の責任で早急に建て替えるべきであると考えているが、市長は「病院の収支状況が長期間大幅な赤字傾向にあること、また、2024年6月の国の診療報酬改定が全国的な病院の経営悪化の要因となっていること」などから、改築に着手することができないと述べている。市の責任で行うべき建物の整備と、病院の経常収支の間にどのような関係があるのか。仮にしかるべき関係があるとしても、建物は早急に整備することが必要ではないか。					
2 化学物質過敏症について					市 長
(1) 化学物質過敏症については、2017年9月定例会において当時の牧田正樹議員の質問に対して、実態把握や当事者への支援に前向きな姿勢を示したが、その後、この疾患で苦しんでいる市民（園児、児童生徒、一般市民を含む）の人数やその症状、困っていることなどに関する実態把握はしているか。していれば、その内容はどうか。					
(2) 当市のホームページには、「香害、化学物質過敏症を正しく理解し、公共の場など多くの人が集まる場所では、香料の使用を控えるなどの配慮をお願いします」と記載されている。このことについて、以下の点を聞きたい。 ア 「香害、化学物質過敏症を正しく理解」するために、市としてどのような					

ことをしているのか。 イ 公共の場では、香料や柔軟剤等の使用は抑制されているか。また、公共の場で業務に携わっている職員等が、香料や柔軟剤等の化学物質の使用を抑えるような取組は行っているか。 (3) 化学物質過敏症で苦しんでいる人に対して、市としてどのような支援に取り組んできたか。また、今後どのように取り組んでいく考えか。 (4) 先進自治体では、香害、化学物質過敏症の相談窓口の設置、公共の場のフレグランスフリー化、全ての職員の理解が深まるような各部署での研修、市独自のチラシとパンフレットの作成と配布等が行われている。当市においてこれらのことは行われているか。また、行う考えはあるか。	
--	--

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年3月7日

次のとおり通告します。

議 員 橋 爪 法 一

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討論（賛成・反対）
項 目 ・ 要 旨				答 弁 者
1 豪雪対策について (1) 災害救助法について、労力や資力にかかわらず、国の災害救助事務取扱要領に基づいた救助の実施、平均積雪深を基準にした運用の是非、旧市町村単位で適用地域を決めるなど対象世帯を狭めている課題をどう認識しているか。また、物置や倉庫等は対象にならないこと、自衛隊の除雪は公共施設に限られていることを改善するよう、県を通じて国に働きかけられないか。 (2) 空き家の屋根雪の放置が大きな問題となっているが、実態と対策について聞きたい。 (3) 道路除雪のオペレーターや要援護世帯等の除雪要員確保にどう対応するか。 2 14市町村合併20年の歩みと今後の課題について (1) 合併後20年を振り返って、市長は現状をどう見ているか。 (2) 今後、当市を発展させる上で、中心的な課題は何か。また、それにどう取り組むか。				市 長 市 長

発 言 通 告 書

上越市議会議長 渡邊 隆 様

令和7年3月7日

次のとおり通告します。

議 員 宮 越 馨

発 言 の 種 別	質 疑	一般質問	緊急質問	討 論（賛成・反対）	
項 目 ・ 要 旨					答 弁 者
1 中川市長の政治姿勢について					市 長
(1) 嘘のない政治、間違いのない発言をなぜできなかったか。以下の点について聞きたい。					
ア なぜこれまで、令和3年の市長選挙での私との政策協定を守ろうとしなかったか。単に選挙に勝ちただけのことなのか。出馬時の記者会見での選挙応援の約束と、政策履行の約束の調印式の意味は何だったのか。今思えば、初めから私を騙そうとしたとしか思えないが、その真意は何だったのか。					
イ 政策実現のため、私のノウハウをいかせる場所を作ると言っていながら何も実行しなかったことも嘘だったのか。そのことで上越市の発展を大きく遅らせてしまった。その上、財政運営も行き詰まり、財政調整基金も火力発電所からの税収が無かったら赤字になっているところだ。財政が、火の車状態になってしまったことに対し、責任を感じないのか。					
ウ 雁木通りを世界遺産にする、子育て全国一にする、日本一住みよいまちにするという公約は嘘だったのか。なぜ、そのようなできもしない公約をしたのか、笑いものになっている。実現できなかったことは欺瞞に映る。市民への謝罪があってもいいと思うがどうか。					
エ 市長は柏崎市での反原発運動中に、上越市在住の活動家に勧誘され、NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部の事務局長に採用されただけなのに、「このNPO法人は」私が作ったとの議会発言は、虚偽答弁ではないか。なぜ、そのような発言をするのか。発言を取り消すべきだと思うがどうか。					
オ 市長就任時から、「人口減少の緩和に向けた取組に一定の成果が得られるまで、市長の給料月額15%減額する」と約束し実行したが、15%の減額を今も続けているということは、一定の成果が上がらなかったからなのか。こうしたことは、単なるパフォーマンスであって虚偽に映る。むしろ人口減少対策が遅れたことの責任の方が重く、辞職して責任を取るべきだと思うが、その真意は何だったのか。					
カ 高卒者への差別発言、挨拶文の取り違い・読み違い、市民への侮辱発言、「あか十字」、「とさの世界遺産」などの発言は、市長としてあり得ない言動であり驚いている。話にならないが、何が原因でそのような発言になるのか。市長としての品格もなく、とても市長の発言とは思えず、市民を愚弄していると言っている。市内外の行政機関などからの信用を大きく失墜させ、加えて市民をリスペクトをしない責任は重い。どのように責任を取ろうとしているか。					
キ 副市長を4人にし、トップセールスに専念するとは嘘だったのか。陳情することがトップセールスとはあきれ返っている。一体何をしようとしていたのか。市内大手企業の大規模投資案件を獲得できなかったが、それこそトップセールスの出番ではなかったか。リーダーシップの無いところにトップセールスもないと思う。市長の言うトップセールスとは何なのか。					
(2) 市民の生命を大事にし、現場主義を貫くと言ってきたが、実際は真逆の市政をなぜ行うのか。以下の点について聞きたい。					

ア 老朽化が著しい上越地域医療センター病院の改築（リハビリ棟を残し本院を新築）は、なぜ突然先延ばしし、市民の命を危険に晒すのか。その判断は政治的ミスではないかと思う。そもそも市長が実態を把握せず、経営判断能力が無かったことが、こうした事態を生んだのではないか。責任は重いがその要因は何か。直ちに基本設計を行い着工すべきだ。 イ 改築費用は、以前から合併特例債を使って実施しようとしていたのではないか。負担の少ない合併特例債が使えず、先延ばしをすれば、逆に市の負担が増える。その責任は重い。方針を撤回すべきだと思うがどうか。 ウ 新潟労災病院の形を変えての存続に、なぜ市は積極的に取り組もうとしないのか。市が、労働者健康安全機構から移譲を受け、コワーキング（テナント）病院として存続すべきだと思う。この点については、県知事に直訴し、新提案は受け止めていただいていると思う。直江津地域の地域医療体制を守るためにも、労災病院の存続は極めて重要であり、無駄な整備となる歯科口腔外科のセンター病院への移転は中止すべきである。市としての決断を聞きたい。	
2 辞職勧告決議を受けての予算編成及び市長の出处進退について (1) 令和6年7月19日に議会から辞職勧告決議を受け、市長は、「厳しいご意見だけでなく、私を応援してくださる方々の声もお聞きすることができました。そして、その方々のご期待に少しでも応えたいという思いが日増しに強くなり、この度、市長として職責を全うしてまいりたいとの考えをまとめた」と辞任を拒否したが、その方々への予算編成はどうなっているか聞きたい。 (2) 辞職勧告が出されて以降も、稚拙な発言が続いているが、辞職勧告を中川市長はいつまで放置するのか。直ちに自ら辞任すべきと思うがその決断を聞きたい。 (3) 任期まで市長職に留まる理由はどこにも無いと思うが、何か留まる理由があるのかをあえて聞きたい。 (4) 辞職勧告が出されてから既に8か月も経つが、辞任はいつ頃になるのかを聞きたい。	市 長